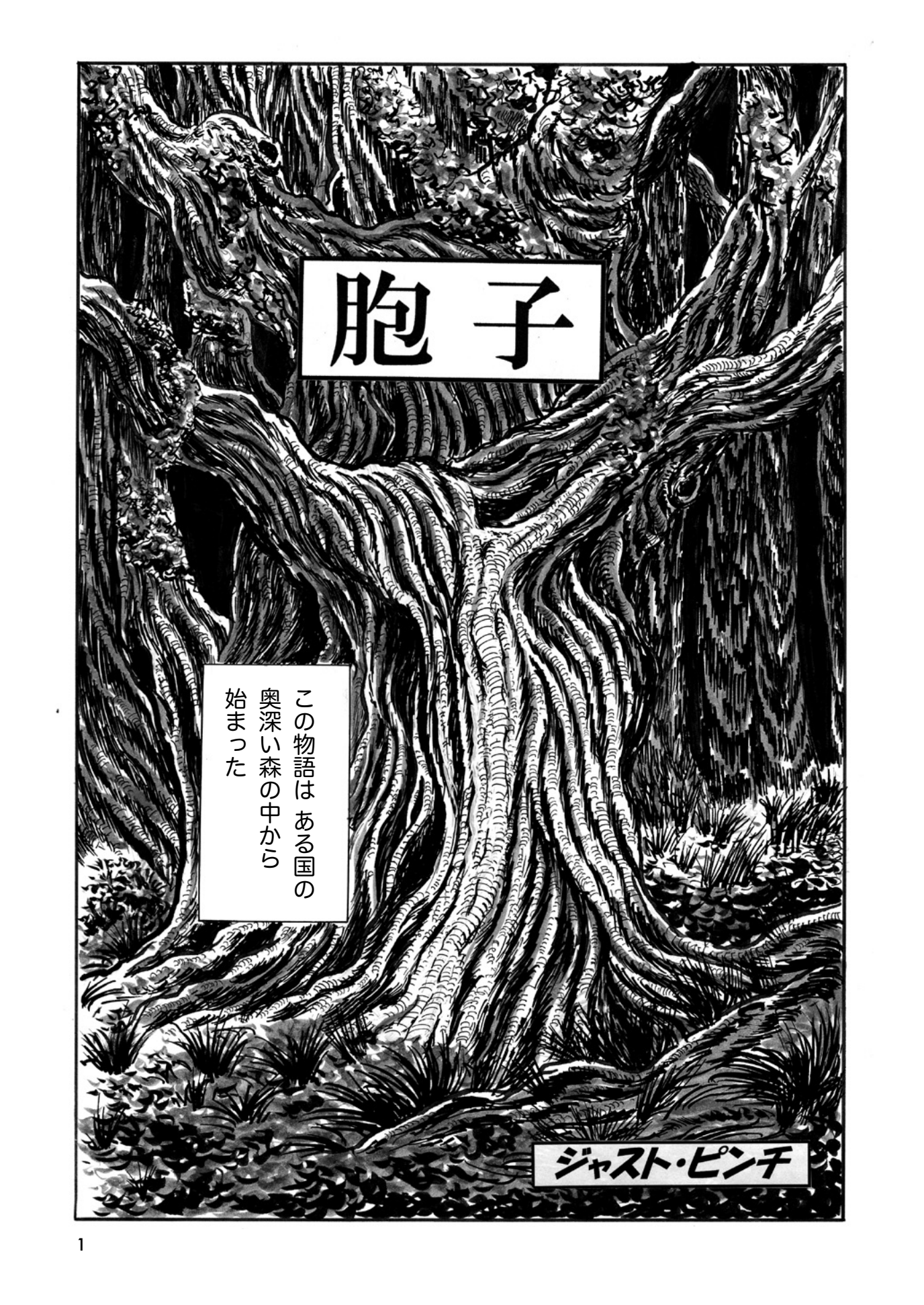


★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。



胞子

この物語はある国の
奥深い森の中から
始まった


ジャスト・ピンチ




さらに森の奥に進むと
一本だけ周囲と異なる
大木があった



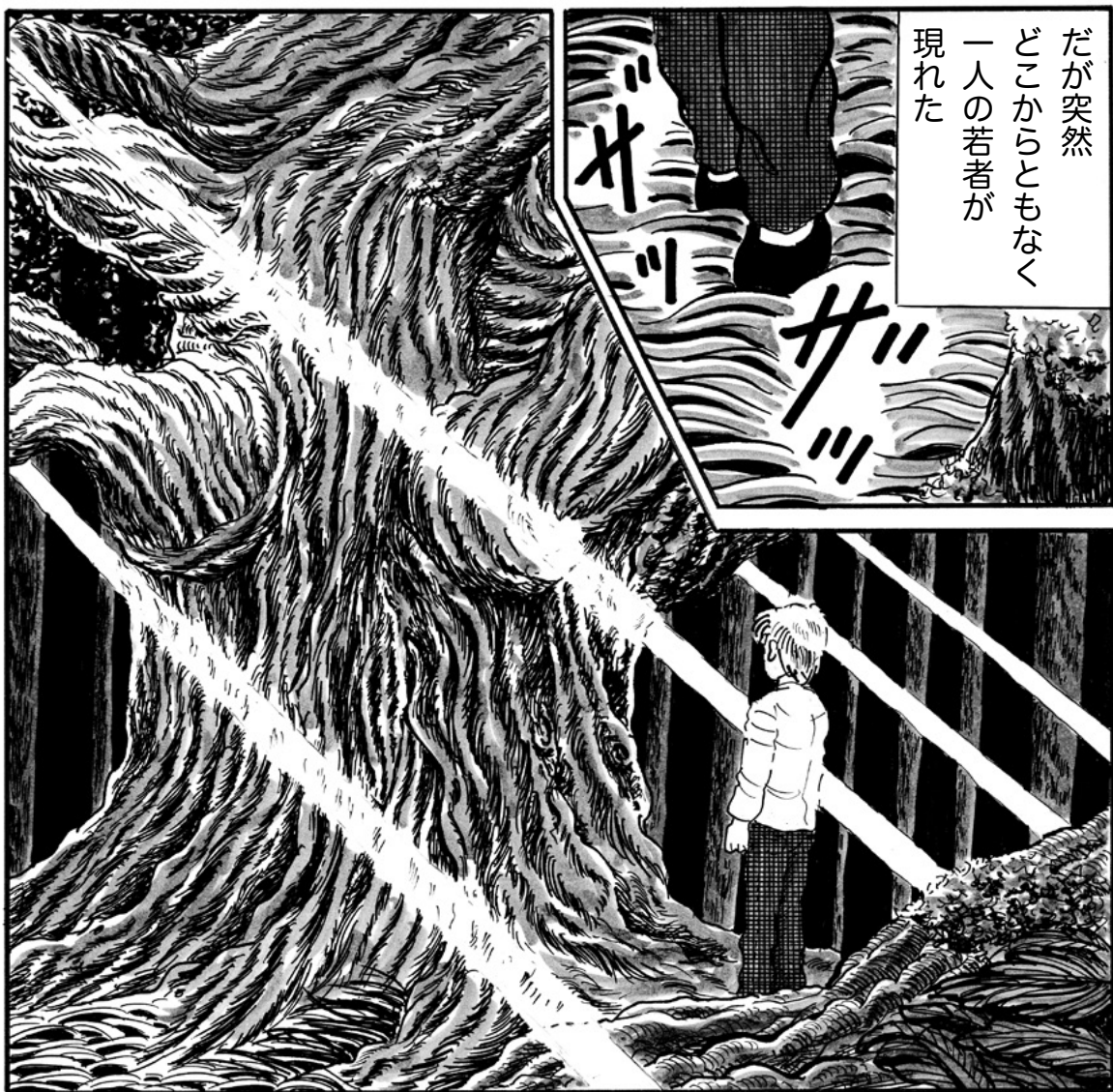
これが今回の
物語の主役
精霊の木である



この地に足を
踏み入れた
人間は今まで
一人もいなかった



だが突然
どこからともなく
一人の若者が
現れた





それにしても
この若者は
こんな奥深い森まで
何しに来たのだろうか



それも私に会いに
来たかのように
いつまでも
精霊の木の前に
立っているではないか



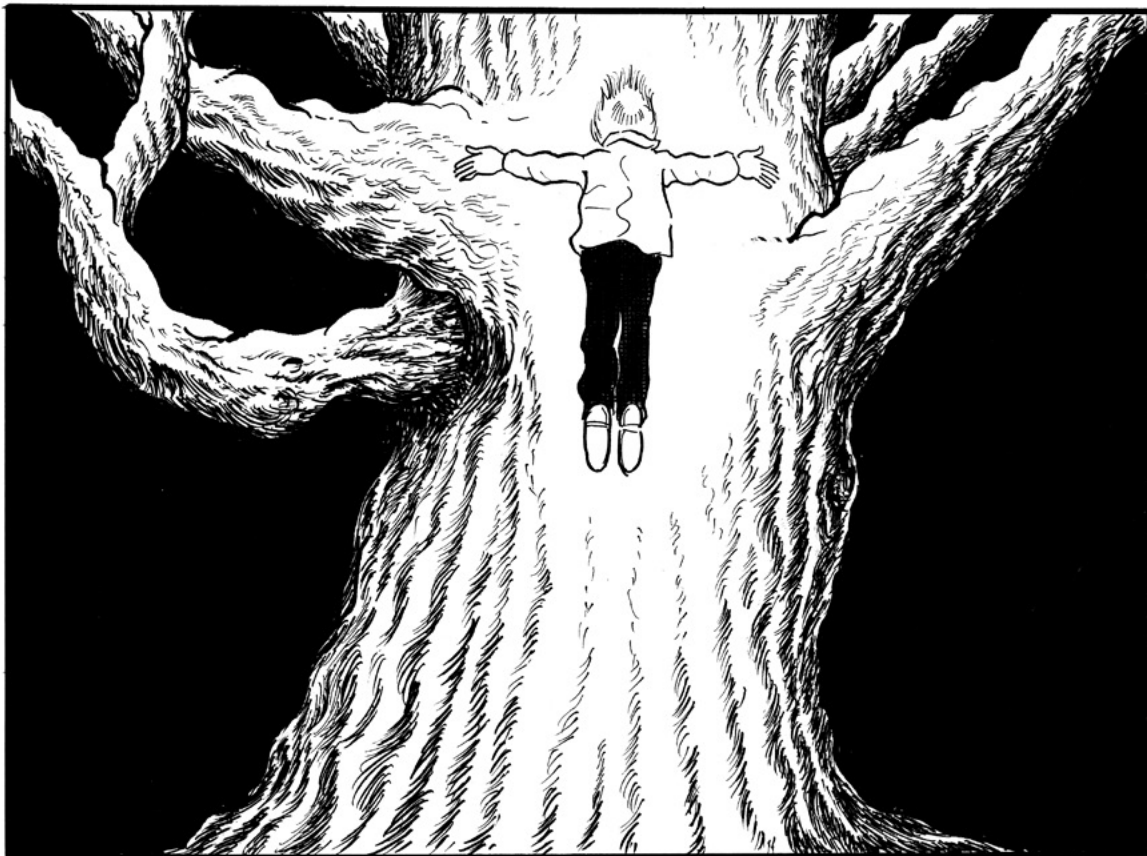
もしかしてこの若者は
精霊の木のことを知って
ここに来たのかも
知れない――

若者は私に近づき
精霊の木に触れた
すると驚くことに
若者の体が――

宙に浮いた
のです



まるで無重力の
世界にいるみたいに
フワフワと精霊の木の
前で浮いていたのです





さらに人間では
不可能だと
思われていた
テレパシーを使い

訴えるように
精霊の木に
語りかけて
きたのです



母さん
ただいま
帰って来たよ



嘘だわ絶対に
ありえない!!



あなたは私から
放出され人間の姿になった
胞子なのよ

放出された時
全ての記憶を忘れた
はずなのに なぜ
この場所が分かったの？

胞子は風の
気流に乗り
全国に飛び
立って行ったの



分からないよ
そんな事
母さん

この場所を
見つけるまで
大変だったんだよ

あなたは人間に
なったのだから
ここへは来ては
いけないのよ

なぜ戻って
来ては
いけないの
ですか



やだよ欲と
嘘ばかりの
人間の世界
なんか

二度と戻り
たくないよ



一度人間の世界へ
入った胞子は
人間に尽くすのが
宿命なの



だからこそ
私の子供である
胞子のあなた達が
人間の世界へ
入り込み

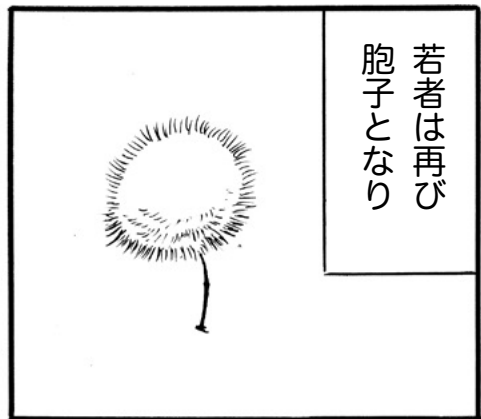
少しでも醜い
人間界を
浄化させるのが
あなた達胞子の
宿命なの
あなたの居場所は
ここにはない



分かったわね
人間の手助けを
するのよ
これは命令よ



風の気流に乗り
元いた場所へと
飛び立って行った

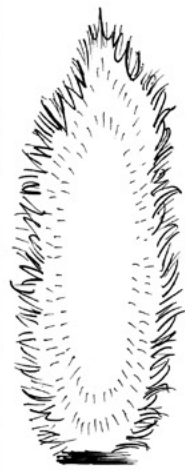


若者は再び
胞子となり

地に着いた
胞子は



弱い立場の人間を
助けるために



人間の姿に
なった――



胞子から人間に
変身した彼等は
各分野でズバ抜けた
才能を発揮した



もしもあなたの周囲に
人並み以上の才能を
持つ人がいたのならば

きっとその人は
この精霊の木から
産まれた胞子かも
知れませんか